

令和8年（2026）9月2日～9月7日

令和8年度（2026）

第4回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和8年度（2026）第4回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表 目次

9月2日（水） 10:00 開会			9月3日（木） 10:00 開会			9月4日（金） 10:00 開会			9月7日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	保科孝充	3	1	川上雅文	10	1	糸賀太郎	17	1	長島和孝	24
2	大場利信	4	2	三加茂圭祐	11	2	湯浅啓史	18	2	樋野千晴	25
3	今岡真治	5	3	鐘推義憲	12	3	今岡久人	19	3	吉岡拓也	26
4	成相寛之	6	4	三島好弘	13	4	福田実	20			
5	石橋広信	7	5	錦織稔	14	5	後藤由美	21			
6	坂本祐麻	8	6	児玉俊雄	15	6	板倉一郎	22			
7	大谷良治	9	7	大村朋寛	16	7	吉井安見	23			

質問者	25	保 科 孝 充
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 猛暑日（35度以上）が激増した中での命を守る対策について		
① 熱中症特別警戒アラートについて ア 熱中症特別警戒アラートの意味と全国の発表状況を伺う イ 熱中症特別警戒アラート発表に伴った出雲市クーリングシェルターの役割と設置箇所を伺う ② 生活保護受給者の熱中症対策について ア エアコンの設置状況を伺う イ 設置費用と工事費の補助はいかがか ③ 暑い中での児童の下校時の対策について ア 児童あるいは保護者の心得についての指導及び対策を伺う		
(2) サル被害の状況と今後の対策を伺う		
① サルによる被害について市民からの苦情はどの程度届いているか ア 地域と件数 イ 処理状況 ② 被害の状況と対策 ③ 隣接市との連携はどのようになっているか ④ 捕獲はどのように計画されているか ア 捕獲の実態と今後の計画 イ 捕獲班以外の個人で捕獲することは可能か		

質問者	23	大場利信
質問事項・質問内容		
(1) 公共施設の解体における最低制限価格の設定について伺う		
① 島根県及び県内他市の状況について伺う。 ② 出雲市においては公共施設の解体工事に関しては最低制限価格が設定されていませんがその理由を伺う。		
(2) 出雲市における介護人材の確保・定着について伺う		
① 出雲市の介護事業所への日本人の最新の就労者数及び充足率を伺う。 ② 日本における少子化傾向に伴う人手不足を補うものとして外国人の就労が注目されているが、出雲市における外国人の介護事業所への最新の就労者数を伺う。 ③ 出雲市の介護人材確保・定着推進についての支援制度（事業者及び個人を対象とするもの）について伺う。 ④ 介護分野における外国人就労に関し、次の2点を伺う。 ア 技能実習や特定技能資格で介護職に就労する外国人に対する出雲市の支援制度について伺う。 イ 一方、出雲市には定住ビザを有する日系ブラジル人が多く住んでいる。彼らの中には母国で医療、介護、福祉に携わってきた人たちも少なくないと聞いている。出雲市における介護人材への確保・定着に向けての支援について伺う。 ⑤ 昨年度からの県知事要望において、海外での介護人材の掘り起こしと受け入れを検討する事業者に対し、受け入れ・定着支援策の拡充を図ることを要望しておられるが、その内容と県の対応について伺う。 ⑥ 出雲市は介護事業分野においても、省力化・効率化の観点からICTを活用し業務改善を図ろうとしている。ICTの活用が可能な分野もあると思うが、人間力とICT力との総合戦略で介護人材の不足に対応すべきと考える。これについて見解を伺う。		

質問者	16	今岡真治
質問事項・質問内容		
(1) 産後ケア事業の利用実態と今後の拡充について		
① 産後ケア事業の利用実績とニーズの把握について伺う ア 直近の利用実績と評価について イ 申請から利用開始までの期間および不承諾・辞退の状況 ② 利用手続きの簡略化と事業者支援の強化について伺う ア 申請手続きの簡略化とスピード感ある利用決定について イ 利用回数制限の柔軟化と十分な予算確保について ウ 事業者の確保とサービスの質維持について ③ 多様化する育児環境に応じた「男性（父親）への支援体制」の構築について伺う		

質問者	6	成 相 寛 之
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 消防団員の災害時における出場時間及び魅力発信プロジェクトの成果について		
① 災害時における消防団員の出場時間について ② 方面隊間の連携について ③ 市内で大規模火災になり得る密集地について ④ 魅力発信プロジェクトの成果について		
(2) アグリビジネススクール及び水稻栽培研修会の成果について		
① アグリビジネススクールのこれまでの受講生数について ② 修了生の農業従事実態について ③ 新たな作物のスクール開設について ④ 水稻栽培研修会の受講生について ⑤ 水稻栽培研修会の今後の展開について		

質問者	13	石橋 広 信
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 健康寿命延伸に向けた健康ポイント事業の取組みと地域経済との連携について伺う		
① 本市における健康寿命延伸の取組みと現状課題について伺う。 ア 現在の特定健診受診率 イ 運動習慣定着に向けた取組みの進捗状況 ウ 予防医療や健康保持に関心が薄い健康無関心層へのアプローチの現状課題 ② 市民運動としての「健康ポイント事業」本格展開への見解について伺う。 ア 対象を全市民とした本格的な事業への発展について イ スマホの不慣れな方々に対してのハイブリッド型の参加チャネルに対する見解 ③ 地域電子通貨「いずも縁結びPAY」との連動および地域経済波及効果について伺う。 ア いずも縁結びPAYのプラットフォームを活用した健康ポイント機能の統合、および市内商店街や協力店舗との連携強化に向けた見解と今後のロードマップについて		

質問者	2	坂 本 祐 麻
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 出雲市内の事業承継、M&Aの実態について		
① 出雲市内の事業承継の現状と関係機関との連携について ア 事業承継の現状把握として、事業所へのアンケート調査や、課題を抱える事業者の把握に、市はどのように取り組んでおられるか伺います。 イ 市で把握できていない事業承継で困っている事業者を掘り起こしていくために、商工団体や金融機関等とどのように連携しているか伺います。 ② 攻めのM&Aによる事業拡大支援と、支援制度の周知・PRについて ア 後継者不在による廃業が進めば、出雲市内の事業者数減少に伴い、高い技術の損失や地域経済の縮小につながりかねません。市独自の大きな支援が難しい中、県の事業承継・引継ぎ支援センターなど既存制度の周知・PRこそ市の役割と考えますが、認識と取組を伺います。		

質問者	20	大谷良治
質問事項・質問内容		
(1) 平和啓発と次世代への継承について		
① 出雲市戦没者追悼平和祈念式典について - ア 参列者や市民への広がりについて ② 小・中学校における平和教育の現状について - ア 授業や体験学習の実施状況 ③ 次世代への継承に向けた取組について - ア 「平和の語り部事業」の活用の現状や学校現場のニーズ		
(2) 出雲市におけるがん検診事業と受診率向上のさらなる推進について		
① 新たな受診促進策の導入状況と、その手応え・効果について ② 目標値達成に向けた課題の分析と、受診行動を喚起する戦略について ③ 市民のニーズに寄り添った検診の利便性向上と、今後の展開について - ア 「セットがん検診」や、検診車による集団検診、医療機関での個別検診などについて、今後の開催枠の拡充やさらなる利便性向上のための工夫をどのように考えておられるか伺います。 - イ 島根大学医学部附属病院をはじめとする関係機関との連携や、最新の医療情報の提供、さらには市民が気がねなく相談・受診できる支援体制づくりも含め、今後の総合的ながん対策の決意について伺います。		

質問者	10川上雅文
質問事項・質問内容	
(1) 出雲長浜中核工業団地の産業インフラ整備について	
① 現状把握・点検について伺う ア 道路・排水施設等の老朽化の現状と管理状況について イ 定期点検・調査及び豪雨時の排水能力の把握について ② 維持・修繕について伺う ア 道路・排水施設等の修繕状況について イ 修繕の優先順位と今後の対応について ③ 計画的な更新について伺う ア 中長期的な維持・更新計画について イ 予防保全型の維持管理への転換と計画的な修繕・更新について ④ 産業振興について伺う ア 産業基盤としての出雲長浜中核工業団地の今後の位置付けについて イ 企業が安心して操業できる産業インフラ整備について	
(2) 猛暑から子どもを守る公園の日陰確保と利用環境の整備について	
① 市内公園の利用実態と暑熱環境の現状について伺う ア 夏季における公園の利用状況と熱中症リスクの認識について イ 公園における日陰・休憩場所等の整備状況と課題について ② 公園における日陰の確保・増設について伺う ア 既存公園へのシェード・東屋・パーゴラ・藤棚等の日除け施設の計画的な整備について イ 樹冠の大きな高木等の計画的な植樹・緑化について ウ 利用者の多い公園や子どもの利用が多い公園から優先的に整備する考えについて ③ 遊具・休憩施設等の暑熱対策並びに今後の取り組みについて伺う ア 直射日光による遊具やベンチ等の高温化への対策について イ 水飲み場や休憩スペースの整備、クーリングシェルターとしての公園の活用について ウ 「夏でも安心して子どもが遊べる公園」を目指した今後の整備方針について	

質問者	4	三 加 茂 圭 祐
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) デジタル時代における市民の安全・安心の確保について		
① デジタル化に伴う犯罪手法・犯罪機会の変化にかかる認識について伺う。 ② 特殊詐欺をはじめとしたデジタル社会の犯罪リスクに対する市の役割について伺う。 ③ デジタル機器を「安全に使える」ための取組状況について伺う。 ④ 犯罪者と市民との接点を絶つための対策の現状と今後の推進方法について伺う。		
(2) 人口減少時代における地域防犯力の確保について		
① 自治会加入率の減少等が地域防犯対策に与える影響について伺う。 ② 自治会等の防犯カメラの設置および更新にかかる補助制度の創設について伺う。		

質問者	1 4	鐘 推 義 憲
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) ヤングケアラー支援の取り組みの現状ならびに「ヤングケアラー支援プラン」の内容および今後の取組方針について伺う		
① 本市における、ヤングケアラー支援の取り組みの現状について伺う。 ア 実態調査の実施状況および結果について イ 広報・啓発の実施状況について ウ 支援体制について エ 相談対応・支援の状況について ② 「ヤングケアラー支援プラン」の内容について伺う。 ③ 「ヤングケアラー支援プラン」の本市における取組方針について伺う。 ア 家庭まるごと支援について イ ケアを必要とする家族への社会でのサポートの充実について ウ 若者世代への支援について エ ヤングケアラー関連施策に関する意見聴取の促進について		
(2) インフラ維持管理のための「包括的民間委託」ならびに「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」の導入方針および取り組みの現状について伺う		
① 本市における、インフラ老朽化の現状および今後の影響について伺う。 ② 今後のインフラ維持管理における課題について伺う。 ③ 「包括的民間委託」について伺う。 ア 内容および導入の必要性について イ 性能発注方式について ウ 導入効果について エ 他自治体の先進事例について ④ 「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」について伺う。 ア 概念および目指す姿について イ 群マネの類型について ウ 導入効果について エ 他自治体の先進事例について ⑤ 本市における、「包括的民間委託」ならびに「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」の導入方針および取り組みの現状について伺う。		

質問者	9	三 島 好 弘
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 農業販売額の推移と営農に対する支援等について		
① 市内における農業販売額の推移について ア 近年の農業販売額の推移を伺う。 イ その推移に対する市の所見を伺う。 ② 中山間地域等直接支払制度について ア 制度の具体的な内容を伺う。 イ 制度の活用状況を伺う。 ウ 制度による効果について市の所見を伺う。 エ 制度の要件に対する市の見解を伺う。 ③ 高齢化が進むなか今後の営農について市の考えを伺う。		

質問者	19	錦 織 稔
質問事項・質問内容		
(1) 地域の歴史的資料の収集・保存と今後の利活用について		
① 市内の収蔵施設の現状と将来的な保管スペースの確保について伺う ② 歴史的資料・民具の散逸防止に向けた対応について伺う ③ 専門人材の確保と、地域コミュニティとの協働による整理体制について伺う ④ デジタルアーカイブ化の推進と、次世代への継承について伺う ⑤ 収集・保存した資料の教育・観光への利活用について伺う		

質問者	18	児 玉 俊 雄
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 山陰道スマートインターチェンジの整備に向けた取組について伺う。		
① 原発特措法の対象地域の拡大により、本市におけるスマートインター整備も支援措置が受けられる可能性が出てきたことを市としてどのように受け止めているのか伺う。 ② 原発特措法の支援措置により、スマートインター整備に係る市の負担がどのようなになるのか、また支援措置を受けるとすればどのような手順になるのか伺う。 ③ 周辺開発等スマートインターの便益向上のための検討はどの程度進んでいるのか伺う。 ④ 防災インフラとしてのスマートインターの整備効果はどのように評価されるのか伺う。 ⑤ 現在の2箇所のスマートインター候補地についての市の評価と想定される絞り込み方法を伺う。 ⑥ 今後のスマートインター整備の取組方針とスケジュールを伺う。		
(2) 先端技術を活用した道路用除草機械の貸出事業について伺う。		
① 市の管理道路における地域ボランティアによる除草実施延長と助成額を伺う。 ② それらをすべて業者委託した場合の想定金額を伺う。 ③ 市の除草機材等貸出事業の概要と実績を伺う。 ④ 先端技術を活用した道路除草機械に関し、収集された情報があれば伺う。 ⑤ 先端技術を活用した道路用除草機械の貸出事業を実施する考えはないか伺う。 ⑥ より優れた除草機械の開発を目指して企業との連携に取り組むべきと考えるが所見を伺う。		

質問者	1	大 村 朋 寛
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) こども施策の推進について		
① 「0歳から12歳まで家庭で子育て」を選択でき、かつ複数人の子どもを育てられる環境を整えるための方策について ア 経済的理由により、望まない共働きを余儀なくされている家庭についての現状把握と市の認識を伺う イ 「0歳から12歳まで家庭で子育て」を選択でき、かつ複数人の子どもを育てるために必要となる世帯収入の目安について、市の認識と、市内の実情の把握状況、およびその差を是正するための施策への反映について伺う ② 乳幼児期における特定の養育者との愛着関係の大切さについて、市の認識と施策への反映について伺う ③ 「こどもを主体とした社会づくり」について、市の認識と施策への反映について伺う		

質問者	3	糸 賀 太 郎
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 多様化する詐欺被害から市民を守るための取組について		
① 本市における詐欺被害の現状について伺う ア 被害件数、被害額、被害者の年代 イ 主な手口はどのようなものか ② 本市における詐欺被害防止の取り組みについて伺う ア どのような啓発・予防対策を実施しているか a 手口別 b 世代別 ③ 詐欺被害の未然防止件数について伺う ア 金融機関、コンビニ、家族、友人等の声掛けによって防ぐことができた例を把握しているか		

質問者	2 1	湯 淺 啓 史
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 令和8年6月出雲市今市町大規模火災からの教訓について		
① 今市町大規模火災の検証 ア 火災調査の結果と消防活動の検証を報告書に取りまとめて公表するか イ 消火活動の検証はどのような方法で行うか ② 密集市街地の延焼リスクの把握と、都市計画・建築による予防 ア 今回の焼損区域と同程度の延焼危険性を持つ街区（「ブロック火災」が発生しうるエリア）の把握と延焼危険度評価はされているか イ 準防火地域の指定の実効性についてどのような見解を持っているか ウ 準防火地域において、耐火性能を高める建替えや外壁・軒裏の防火改修に対する支援制度を創設する考えは ③ 密集市街地の空き家対策と防火対策 ア 「ブロック火災」が発生しうるエリアの空き家の実態把握 イ 除却補助について、密集市街地を対象とした特例を設ける考えは ウ 除却後の跡地を市が取得・借上げ・管理する仕組みの検討は エ 空き家対策を進めるうえで検討されている条例への位置づけ オ これらを立地適正化計画の防災指針に位置づけ、計画的に進める考えはないか ④ 大規模火災発生から被災地の再建までの市の対応 ア 大規模火災発生から解体撤去の着手に至るまでの、市の対応について検証する必要があるのではないか イ 被災した街区の再建にあたって、ランドデザインづくりに対し、市はどのように関与していくのか		

質問者	15	今岡久人
質問事項・質問内容		
(1) あらゆる災害時の避難・退避等の取組について伺う		
① 原発事故が発生した時の避難ルートや避難場所は、県内はもとより県外への避難計画に入っていますが、市民に十分周知されているとお考えなのか伺う ② 原発事故発生時の、避難ルートとなる新たな道路整備、「境港・出雲道路」の今後の計画について伺う ③ 現在、避難ルートになっている道路(主として国道431号)に避難道路であるという表示看板等の設置はしてあるのか伺う ④ 熊本地震も「断層」のずれを指摘されている。島根原発がある島根半島にも「宍道断層(鹿島断層)」の存在が指摘されている。これらの情報は十分に理解し関係機関と情報共有ができていているのか伺う ⑤ 大雨災害が発生した時、避難所開設やそこに必要な諸物品は、各避難所に適数量が分散配布出来ているのか伺う ⑥ 今年気象庁は「キキクル」で、大雨災害時の危険度を、地図上で色分けして分かり易く確認できるようにした。本市もハザードマップを新たに配布された。しかし、災害に対する意識を高めるためには、各地域での異常時災害訓練を行う事が必要ではと考えるが考えを伺う ⑦ 出雲市は県と一緒に「内水面災害」について協議を始められ、更に建設企画課内に「市街地水害対策室」を設置されている。現在までの打ち合わせ会議で事態の改善に向けた話し合いが出来ているのか伺う		

質問者	1 2	福 田 実
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 出雲市の草刈り、川掃除・溝掃除の状況について		
① 市が管理している道路・河川の草刈り作業状況や、現在の助成制度の内容を伺う。 ② 農業用排水路の草刈り、浚渫作業状況や、現在の助成制度の内容を伺う。 ③ ①、②以外の地域が行うボランティア活動の草刈り・側溝清掃の状況を伺う。 ④ 環境政策課が行っているボランティア活動の刈草、汚泥等の処分状況を伺う。		

質問者	17	後藤 由美
質問事項・質問内容		
(1) 米の安定供給と米生産農家支援について		
昨年来の米不足と価格高騰は、市民の暮らしに深刻な影響を与えた。今年は米価の暴落が必至と言われており、米生産農家も消費者も不安を募らせている。国内の「基幹的農業従事者」は本年2月には100万人を割り、この15年間で半減しており、担い手の確保も急がれている。 ① 米の安定供給について ア 国は7月、食糧法改正案を成立させた。これまでの「政府の責任による価格の安定」を削除し、米の「需要に応じた生産」で農家に責任を押しつけるものになった。これでは米が不足すれば高騰し、生産が増えれば暴落が懸念され続け、農家も消費者も心配がつきず、米農家からは「今後もうやっていけない」という声もある。市はこの食糧法改正をどう認識しているのか伺う。 ② 米生産農家支援について ア 農水省の求めで、将来の農地の担い手を特定する「地域計画」を作成されている。今後も市内の多くを占める小規模・家族経営農家や集落営農組織が農地を守り地域社会を支えるよう支援が必要だが、認識を伺う。 イ 県や関係団体とも連携し、農地や機械などの無償貸し出しなどを含め、思い切った支援が必要と考えるが、所見を伺う。 ウ 大規模農業から中山間地域農業、家族農業まで、皆安心して米が作れるために米価の価格保障や農家の所得補償の充実、食料自給率向上を柱とした農政への転換を国に求めるべきと考えるが、所見を伺う。		
(2) 市民の願いにそった地域公共交通の充実に向けて		
「免許を返納しないといけないが、車がなければ通院や買い物ができない」「福祉バスがあるが、バス停まで出るのが困難」「バスがもっと便利になるといい」など、市内の公共交通に関する声が多数寄せられている。これらの要望を受け止め、今後さらに公共交通の充実・発展が求められている。 ① 「出雲市地域公共交通計画」の進捗状況と課題について ア 市は令和5年1月に「出雲市地域公共交通計画」を策定し、課題を明らかにしたうえで、将来に向けた13の施策を決めて取り組んでいるが、現在の進捗状況と課題のポイントを伺う。 イ 高齢者が利用しやすい定額乗合交通として、佐田地域が本格運行、湖陵地域及び神西地区が実証運行中、多伎地域及び大田市富山地区が10月から実証運行開始の予定となっている。市民のニーズにこたえた便利な手段になることを望むが、現在の課題の認識を伺う。 ウ この定額乗合交通は、地域の要求があれば柔軟に対応するのか、今後の見通しを伺う。 ② 高齢者等を対象としたバス・乗合タクシーについて ア 「高齢者等外出支援事業」「斐川まめながタクシー外出支援事業」「福祉バス」が運行されているが、利用が少ない。現状をどう分析し、ニーズにこたえるための所見を伺う。 イ 「福祉バス」の見々久線利用者からは「バス停までが遠くて行けない」などの声があがっている。地域の要求を丁寧に聞き、利用しやすい「福祉バス」運行が求められている。所見を伺う。 ③ 市内交通の柱である民間バス・タクシーの運転手不足も課題となっている。運転手不足解消に向け、市が直接処遇改善などの支援が必要と考えるが、所見を伺う。		

質問者	28	板倉 一郎
質問事項・質問内容		
(1) 出雲市の産業を支える担い手確保について		
① 市内産業における担い手不足の現状認識と課題について ア 生産年齢人口、有効求人倍率及び高校新卒者の市内就職率などの現状を伺うとともに、市としてこれらをどのように分析されているか伺う。 イ 担い手不足が継続している根本的な要因について、市の認識を伺う。 ② 市の担い手確保対策について ア 若者の地元就職・定着に向けた支援の取り組みについて伺う。 イ 移住者や副業・兼業人材などの外部人材活用に向けた取り組みについて伺う。 ウ 中小企業の事業承継に対する支援の取り組みについて伺う。 エ 労働力不足を補うためのデジタル技術活用（DX）に対する支援策について伺う。 ③ 地域の暮らしや雇用を支える地域産業の存在意義と、今後の持続可能性に対する市の見解・基本理念を伺う。		

質問者	1 1	吉 井 安 見
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 国民健康保険と公的年金について		
① 国民健康保険と健康保険組合の保険料の比較を伺う。 ② 世界情勢の不安定な状況が続き、物価上昇に対して賃金・年金が目減りする状況が続いている。年金支給額の動向を伺う。 ③ 島根県内の市町村で異なる国民健康保険料の水準を統一する方針が示された。2018年から始まった都道府県単位化や保険料の統一に対する、市の認識を伺う。		
(2) 災害対応力の強化について		
① 全国各地で発生している豪雨や地震による災害や、市内で発生した大規模火災などの教訓がどのように活かされているのか伺う。 ② 災害発生時の避難所環境の改善が求められている。空調（冷暖房）の整備、避難者の生活空間やプライバシーの確保、飲料水や食事の提供体制について伺う。 ③ 個別避難計画の策定状況と、実効性を高めるための課題認識や課題解消にむけた取り組みを伺う。		
(3) 原発の「安全」について		
① 7月14日に中国電力が開催したプルサーマル計画についての住民説明会で参加者から出された意見・声について認識を伺う。 ② 中部電力・浜岡原発の審査データを巡る不正・改ざんを原子力規制委員会は見抜くことができなかった。この事象についての認識を伺う。 ③ 住民の安全を軽視するこれらの事態にどのように対処し責任を全うするのか、所見を伺う。		

質問者	8	長 島 和 孝
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 小学校の通学区域制度について伺う		
① 選択校区制度が導入されて27年経つが、この間、対象校区の児童・保護者から苦情はあったか伺う。 ② その他の校区で通学距離に関する児童・保護者からの不満の声はないか伺う。 ③ 入学前の保護者からの通学距離に関する不安の声はないか伺う。 ④ 児童・保護者の意向に一層配慮する考えはあるか伺う。		
(2) コミュニティセンターの利用促進について伺う		
① 個人名での申し込みは可能か伺う。 ② 新規利用者は年間何人か伺う。 ③ 市として新規利用を促進する考えはあるか伺う。		
(3) 介護職のイメージアップ方策について伺う		
① 市で運営しているウェブサイト「IZUMO KAIGO LIVE!」のページビューの推移について伺う。 ② 今後のイメージアップ方策を伺う。		

質問者	7	樋 野 千 晴
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 呼吸器感染症の予防と非結核性抗酸菌症（NTM症）に対する普及啓発について		
① 本市における死因の順位について伺う ② 高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種について伺う ア 高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の制度変更と周知方法について イ 制度変更前の定期接種率と新制度による定期接種率について ③ 66歳以上で特定の基礎疾患を有する人を対象とした肺炎球菌ワクチンの助成について伺う ④ 呼吸器感染症予防や非結核性抗酸菌症の普及啓発の取り組みについて伺う ア 出雲市の広報紙や市公式LINEなどでの周知の考え イ 非結核性抗酸菌症についての市民講座やセミナー、シンポジウム等の開催の考え		

質問者	5	吉岡拓也
質問事項・質問内容		
(1) ファーストレスポonder体制整備地域における遠隔地AED設置事業の拡充について伺う		
① 救急車到着に時間を要する地域におけるAED設置の現状について伺う ア 遠隔地AED設置事業の目的と経緯について イ 遠隔地AEDの設置状況について ② ファーストレスポonder体制の活動実績と活動環境の整備について伺う ア ファーストレスポonder体制の概要について イ 活動実績について ウ 活動環境の整備について ③ ファーストレスポonder体制整備地域への遠隔地AEDの追加設置について伺う		